

第122回 北海道地方交通審議会船員部会 議事概要

開催年月日 平成30年11月22日(木)

開催場所 北海道運輸局 9F 共用会議室

□議題□

1. 審議事項

なし

2. 報告事項

- (1) 管内船員職業安定業務取扱状況(平成30年10月分)について
- (2) 離職四法に基づく減船離職船員現況調べについて
- (3) 離職四法に基づく求職者手帳発給数及び支給実績について

3. その他

- (1) 情報交換
- (2) 次回の船員部会開催日について

□議事概要□

1. 事務局より、管内船員職業安定業務取扱状況について、平成30年10月分の管内船員職業安定業務取扱状況について報告があった。

労働者委員より、貨物船の同一職種複数名の求人について質問があり、事務局より、派遣会社からの求人との回答があった。また、員外通信士の求人理由について質問があり、事務局より、後継者育成のための求人との回答があった。

公益委員より、夏期の求人増加の理由について質問があり、事務局より、主に漁船の求人やフェリーの増便に対する求人が増加するためと回答があった。また、雇用保険給付の金額と支給期間について質問があり、事務局より、陸上より賃金が高いため給付額も高く、保険料支払いのためには、一般的に、加入期間が2年間のうち12か月以上で権利が発生し、支給期間は最大330日であると回答があった。

事務局より、前回部会時に質問のあった航海日当が最低賃金に含まれるようになった経緯について、調査した結果を説明した。

2. 事務局より、最低賃金専門部会の審議状況及び今後の開催日程について説明があった。

公益委員より、小樽海上技術学校の存続について質問され、事務局から「正確な話は北海道運輸局には入って来ていない。本省当局が検討していると思われる。」との説明があった。

3. 次回の第123回船員部会は、平成30年12月14日(金)16時00分より6階会議室で開催することを確認した。

(以上)